

授 業 科 目 名	保育実習 I b	教 員 名	山下 愛実 満行 知花	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
					保育士	必修
					こども音楽療育士	
授 業 形 態	演習	担当形態	複数	卒業要件	中高英語コース	
科 目 番 号	JIS305	配当年次	3 年前期		小幼コース	選択
単 位 数	2 単位				幼保コース	必修
科 目	実習に関する科目					
各科目に含める 必要事項						
科 目	告示別表第 1 による教科目					
系 列	保育実習					
一 般 目 標	福祉の現場において学内で学んだ福祉の知識や技術を生かして、利用児（者）と直接関わる中で、利用児（者）の理解や実習施設への理解を深め、業務の実際を体験的に学習する。業務に参加し、実習する施設の理念や方針、各種実習施設の一日の流れや利用児（者）の特性について理解する。また、記録等を通して専門職としての施設保育士の役割と職業倫理について理解する。					
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設の役割や機能を具体的に理解する。 2. 観察や利用児（者）とのかかわりを通して利用児（者）への理解を深める。 3. 既習の教科目の内容を踏まえ、利用児（者）及び保護者への支援について総合的に理解する。 4. 支援の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。 5. 施設保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。 					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている」「3. 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている」「4. 教育に関連する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている」「5. 教育実践力を身につけている」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている」を育成する科目として配置している。					
授 業 の 概 要	3年前期終了後、学外の児童福祉施設（保育所を除く）において約2週間実習を行う。実習内容は観察・参加実習とする。現場で利用児（者）や施設保育士の姿に触れ、観察やかかわりを通して児童福祉施設で行われている事業全体を学ぶ。また、アクティブラーニングとして、実習に臨むにあたっての自己課題に基づき、自ら問いをもって意識的に実習に取り組むことに加え、実習記録を作成し、保育者との対話を通して、自身の利用児（者）へのかかわり方や保育者の援助の見方・考え方を捉える力を養い、主体的に学びを深める。					
履 修 条 件 ・ 注 意 事 項	保育実習 I b を実施するためには、実習実施条件（成績状況等）を満たさなければならない。					
授 業 計 画	<p>主に、観察・参加実習とする。約2週間の実習を通して、下記の事柄について学び、習得していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習する施設の概要や理念、養護目標を知る。 ・施設の生活に参加し、一日の流れや施設の生活状況を理解する。 ・観察やかかわりを通して、利用児（者）のニーズを理解する。 ・支援計画の意味を学び、施設全体の援助の実態を学ぶ。 ・年齢、発達、その他個人の特性などに応じた支援計画を学ぶ。 ・利用児（者）の心身の状態に応じた生活と対応、安全対策について学ぶ。 ・施設保育士の援助の実際を通して、養護技術を学ぶ。 ・家庭や地域社会との連携や関わり方を学ぶ。 ・守秘義務の遵守がどのようになされているか、個人のプライバシーにどのように配慮しているか学ぶ。 ・実習日誌の作成を通して、記録の意義やその取り方を身に付ける。 					
学生に対する評	・実習施設による評価を100%とする。					

価	・60%以上を合格とする。
時間外の学習について	毎日の実習の振り返りを実習日誌に記述し、実習施設に提出する。また、実習施設より課された課題を期日までに仕上げる。
教材にかかわる情報	参考資料等：授業での配布資料
担当者からのメッセージ	実習先との報告・連絡・相談を欠かさず、自分の判断で動くことのないようにすること。判断が難しい場合は、必ず実習園の実習担当、または養成校の実習担当に相談すること。責任感をもって行動してほしい。
オフィスアワー	山下愛実：講義時間以外の空きコマ（必ずアポイントメントを取ること） 満行知花：講義時間以外の空きコマ（必ずアポイントメントを取ること）
備考	